

## 新卒内定者における女性の割合が5年で約3倍に タカラスタンダードが内定式を実施



(内定式の様子)

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、10月1日（月）に横浜支店で、10月3日（水）に大阪本社にて2019年度新卒入社者対象の内定式を行いました。

内定式では、執行役員人事部長・武昭史が「20代は能力を伸ばす上で非常に大事な時期。会社も研修でサポートするが、自ら学ぶ姿勢を大切に自らの成長につなげてほしい。」とエールを送り、内定書を授与。受け取った2019年度新卒入社者は、来春の入社に向けて意識を高めました。2019年4月までは内定者研修や教育課題提出により社会人への意識の切り替えを促していきます。

タカラスタンダードは、FACE TO FACE RECRUITING という考えの基、できるだけ多くの学生と対話し、多様な人材を採用しています。2014年にはエリア総合職制度を導入し、エリアを限定して働く総合職のショールームアドバイザーを積極的に採用することで、地域に密着した人材を全国170カ所以上のショールームに配置してきました。また、同制度の導入により、新卒内定者における女性の割合が2013年の13%から37%に向上。5年で約3倍まで引き上げており、2020年度の目標として掲げている40%達成に着実に近づいています。

また、業務システム稼働時間の短縮やアニバーサリー休暇の導入などにより、男女ともに働きやすい職場環境の実現に向け、時間外労働の削減や有休取得率向上に向けた取組みも積極的に行っております。

タカラスタンダードはこれからもよりよい職場環境を整えることで優秀な人材を育成し、自社の成長に繋げるのみならず業界の発展に貢献してまいります。

### <タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業106年） / 売上高（連結）1,884億円（平成29年度） / 従業員数（連結）6,121名]